

基調講演

**「全国の工業高等学校の
現状と課題」**

第7回 工大サミット



「全国の工業高等学校の現状と課題」

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
 (東京都立中野工科高等学校 統括校長)
 理事長 守屋 文俊

1 公益社団法人 全国工業高等学校長協会

(1) 協会理念

工業を学ぶ高校生が、友と競い・夢を培い・技を極め・自らを高めるための活動を支援し、社会で活躍する人材を育てる工業教育をサポートする。

(2) 沿革

- 大正9年3月15日 大阪において、工業教育(工業校長会)ときわめて深い関係を持つ商工中心会が創設
- 大阪、近畿全域、更には6大都市(大阪・京都・神戸・名古屋・横浜・東京)に工業学校長会の組織が作られ、大正14年全国実業教育会に発展
- 6大都市の工業学校を会員とする工業教育研究会は、教科書を編集、大正15年には第1次を出版
- 活発化を図るため本拠を東京に移転
- 昭和5年 財団法人 工業教育振興会
- 昭和12年東京市麹町区飯田橋(現在地)の事務所へ移転
- 昭和時代の苦難を乗り越えたのち、昭和30年全国工業高等学校長協会を設立
- 昭和31年3月12日付 公益団体「社団法人 全国工業高等学校長協会」
- 平成24年4月1日付 「公益社団法人 全国工業高等学校長協会」
- 令和元年 創立100周年

1 公益社団法人 全国工業高等学校長協会

(3) 検定試験・学力テスト

機械製図検定 第55回 (1次) 令和6年6月14日(金) (2次) 令和6年7月5日(金) 申込締切: 5月10日(金) 検定料(税込) 1,050円	文部科学省主催 計算技術検定 第90回 令和6年6月21日(金) 申込締切: 5月10日(金) 第91回 令和6年11月15日(金) 申込締切: 10月4日(金) 検定料(税込) 1級 1,150円 2級 800円 3級 700円 4級 700円	文部科学省主催 情報技術検定 第72回 令和6年6月28日(金) 申込締切: 5月10日(金) 第73回 令和7年1月17日(金) 申込締切: 11月1日(金) 検定料(税込) 1級 900円 2級 700円 3級 700円
パソコン利用技術検定 <small>コンピュータ・アプリケーション・専任検定</small> 第47回 令和6年7月12日(金) 申込締切: 5月31日(金) 第48回 令和6年12月13日(金) 申込締切: 10月25日(金) 検定料(税込) 1級 1,400円 2級 1,150円 3級 1,150円	初級CAD検定 第24回 令和6年7月12日(金) 申込締切: 5月31日(金) 検定料(税込) 機械系・建築系 1,400円	基礎製図検定 第37回 令和6年9月13日(金) 申込締切: 7月5日(金) 検定料(税込) 700円
リスニング英語検定 第30回 令和6年10月11日(金) 申込締切: 7月5日(金) 検定料(税込) 1,050円	グラフィックデザイン検定 第29回 令和7年1月17日(金) 申込締切: 11月1日(金) 検定料(税込) 1級 1,150円 2級 1,050円 3級 1,050円	高等学校工業基礎学力テスト 令和6年度 令和7年2月7日(金) 申込締切: 11月30日(土) 実施分野・科目 工業情報教育、機械、電気、建築、土木、化学、測量、材料、設備、デザイン 受験料(税込) 各分野・科目 600円

1 公益社団法人 全国工業高等学校長協会

(4) 出版物

- ・検定参考書 ・検定問題集
- ・機関紙「工業教育」



(5) 競技会・コンテスト

- ・高校生ものづくりコンテスト全国大会
旋盤作業、自動車整備、電気工事、
電子回路組立、化学分析、木工加工、
測量、溶接
- ・高校生ロボット相撲全国大会2024
- ・全国製図コンクール
- ・高校生技術・アイデアコンテスト全国大会
- ・ジャパンマイコンカーラリー2025全国大会



1 公益社団法人 全国工業高等学校長協会

(6) ジュニアマイスター顕彰制度

取得した資格や合格した検定試験および各種競技・コンクール等での優秀な成績等をジュニアマイスター顕彰に係る区分表(以後、「区分表」)から得点に換算し申請を行い、合計得点に応じた認定を行う。

- 20点以上かつ30点未満を「ジュニアマイスターブロンズ」
- 30点以上かつ45点未満を「ジュニアマイスターシルバー」
- 45点以上を「ジュニアマイスターゴールド」

- 例えば 計算技術検定3級(2点)
 情報技術検定3級(2点)
 基礎製図検定(2点)
 3級技能士(12点)
 電気工事士2級(7点)
 危険物取扱者乙種4類(4点)
 工事担任者(デジタル系)第二級(7点) 36点

2 全国の工業高等学校の現状 全国の工業高校の学校数(令和5年度)

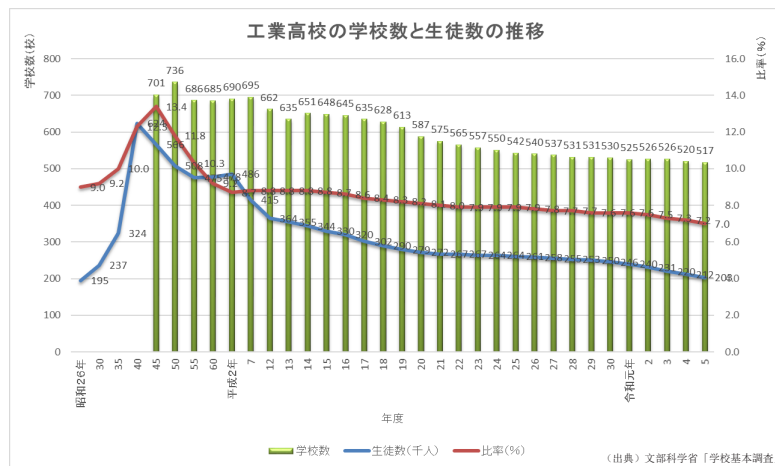
	国立 (全日制)	公立			私立			合計			割合				
		全日制	定時制	全定併置	全日制	定時制	全定併置	全日制	定時制	全定併置					
普通	11	1,968	168	241	2,377	1,257	3	15	1,275	3,236	171	256	3,663	56.1%	
専門教育を主とする専攻	農業		274	10	9	293	3		3	277	10	9	296	4.5%	
	工業	1	328	15	89	432	82	2	84	411	15	91	517	7.9%	
	商業		383	27	33	443	134	3	2	139	517	30	35	582	8.9%
	水産		42			42				42			42	0.6%	
	家庭		161	9		170	91	3		94	252	12		264	4.0%
	看護		29			29	64	2	1	67	93	2	1	96	1.5%
	情報		22	2		24	3			3	25	2		27	0.4%
	福祉		59			59	37			37	96			96	1.5%
	その他 ※	1	444	2	1	447	119			119	564	2	1	567	8.7%
総合学科	2	309	36	9	354	20	2		22	331	38	9	378	5.8%	
													6,528		

※「その他」の学科は、専門教育を主とする学科のうち「農業」～「福祉」に関する学科以外の学科(理数、体育、音楽、美術、外国語、国際高校など)の合計

※一つの学校が2つ以上の学科を持つ場合、それぞれの学校について、重複して計上。

(出典)文部科学省「学校基本調査」

2 全国の工業高等学校の現状 工業高校の学校数と生徒数の推移



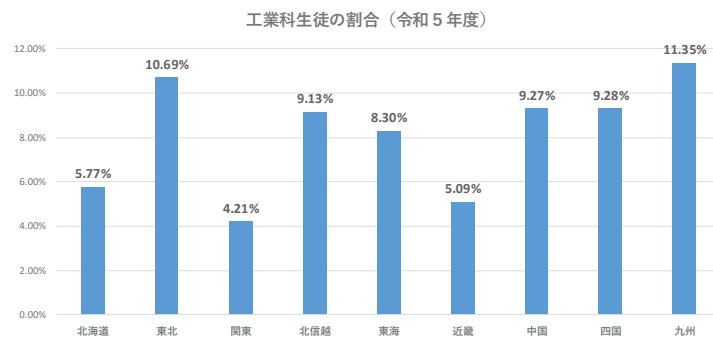
2 全国の工業高等学校の現状 高等学校学科別生徒数・学校数

区分	生徒数(人)	比率(%)	当該学科を置く学校数(延べ数)	単独学科学校数
合計	2,909,703		6,528	3,448
普通科	2,149,796	73.9	3,663	2,556
職業学科(専門高校)	759,907	26.1	2,865	892
小計	497,739	17.1	1,920	563
農業	68,661	2.4	296	120
工業	203,449	7.0	517	254
商業	162,432	5.6	582	156
水産	7,113	0.2	42	20
家庭	34,113	1.2	264	5
看護	12,422	0.4	96	6
情報	2,802	0.1	27	1
福祉	6,747	0.2	96	1
その他専門学科	104,542	3.6	567	50
総合学科	156,887	5.4	378	278

※全日制・定時制のみの統計である(通信制は含まれない)。
 ※「当該学科を置く学校数」欄は、複数学科を置く学校について、それぞれの学科に計上した延べ数である。
 ※全国の全日制・定時制の高等学校のうち、職業教育を主とする学科を設置する高等学校は1,459校である。
 ※「その他の専門学科」には、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係等の学科がある。
 ※総合学科とは普通教育及び専門教育を選択履修す旨として総合的に施す学科である。

(出典) 文部科学省「令和5年度学校基本調査」

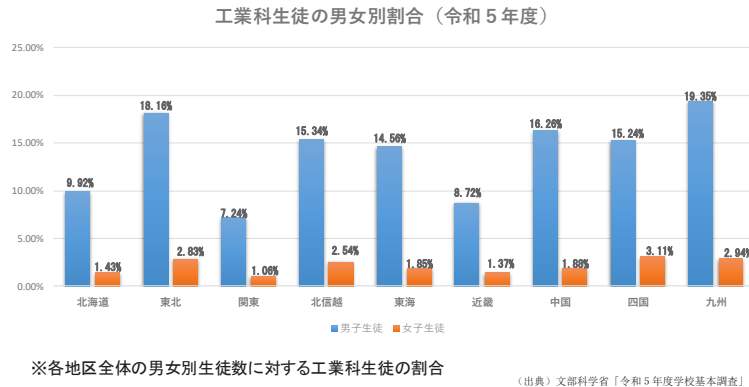
2 全国の工業高等学校の現状 地区別工業科生徒の割合



※各地区全体の生徒数に対する工業科生徒の割合

(出典) 文部科学省「令和5年度学校基本調査」

2 全国の工業高等学校の現状 地区別工業科生徒男女別割合

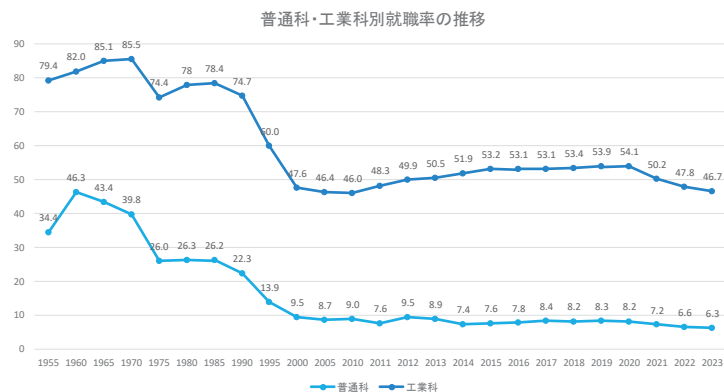


2 全国の工業高等学校の現状 小学科 男女別生徒数の割合

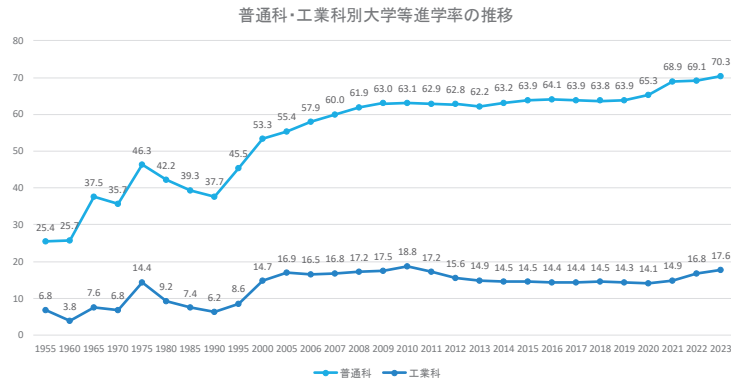
男子生徒（178199名）		女子生徒（25250名）	
機械関係	25.86%	デザイン関係	18.36%
電気関係	18.00%	建築関係	14.19%
その他	11.70%	情報技術関係	10.30%
情報技術関係	8.56%	その他	9.15%
電子機械関係	8.20%	化学工業関係	8.29%
建築関係	6.85%	インテリア関係	7.37%
土木関係	6.20%	機械関係	6.82%
設備工業関係	0.87%	土木関係	6.25%
インテリア関係	0.56%	電子機械関係	3.08%

（出典）文部科学省「令和5年度学校基本調査」

2 全国の工業高等学校の現状 普通科・工業科別就職率の推移

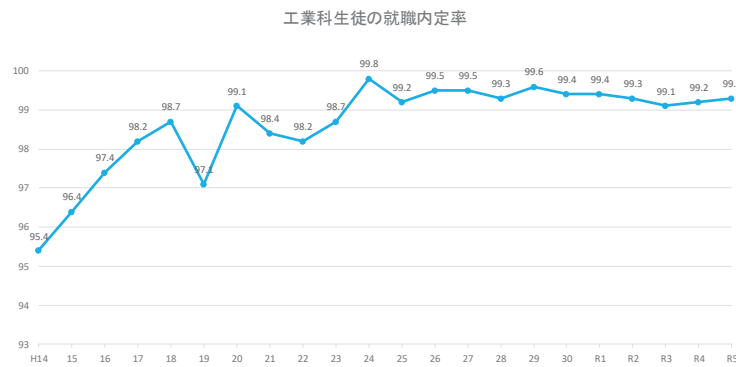


2 全国の工業高等学校の現状 普通科・工業科別大学等進学率の推移



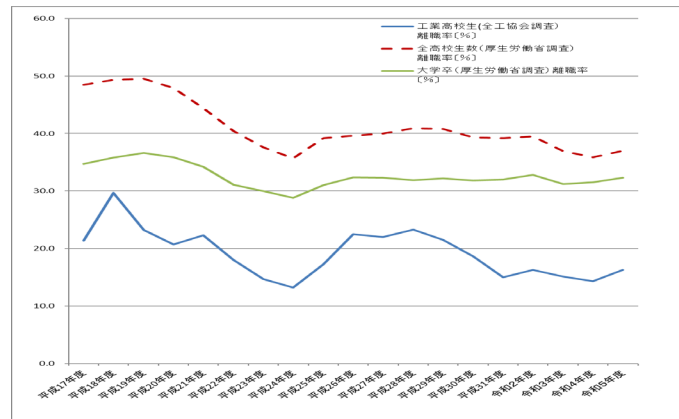
(出典) 文部科学省「学校基本調査」から

2 全国の工業高等学校の現状 工業科生徒の就職内定率



出典: 全国工業高等学校協会調査部

2 全国の工業高等学校の現状 離職率(3年間で離職した生徒・学生の割合)の推移



大学卒業者、高等学校卒業者は厚生労働省の調査より
工業高校生卒業者は全国工業高等学校長協会の調査より

3 全国の工業高等学校の課題 今後の工業高校の在り方検討委員会

入学者の定員割れ、教員不足等の課題について共有し、魅力ある学校づくりを目指すための検討を行う。（令和4年から2年間）

3 全国の工業高等学校の課題 今後の工業高校の在り方検討委員会 工業教育が目指す姿

人材育成

- (1) 日本の工業社会を支え発展させる人材の育成 (2) よりよい社会を構築するための豊かな人間性の育成
- (3) イノベーティブな人材育成 (4) 創造力の育成

変化への対応

- (1) 時代の変化に応じて、生涯学び続けられる姿勢
- (2) 社会の変化に柔軟に対応した専門教育の展開のために、学科制度を変革
- (3) 中学生や保護者に理解される魅力的で多様な進路への対応
- (4) 工業高校として、普通科高校とは異なる先進的な情報教育の実施
(デジタル技術、DXの推進、AI技術等の活用)

連携

- (1) 共通の「目指す工業教育の姿」は難しく、各学校のもっている特色を生かすことが必要
- (2) 産業（企業）・大学・行政と連携し、各工業高校の特色を生かした教育を実践
- (3) 学校のビジョンを示し、様々な機会、媒体、パートナーを活用して、工業高校の魅力を発信

4 工業大学・工科大学への期待

大学への進学

- 1 全国工業高等学校長協会推薦・特別推薦枠
(志が高く、大学進学を目指すものの、家庭の事情等により進学を断念せざるを得ない者を救う。)
- 2 工業高校の教員不足
教員の養成
- 3 高等学校DX加速化推進事業(文部科学省)
大学等と連携したより高度な専門教科指導を実施

一層の工業高校との連携、接続の強化をお願いします